

## 貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	148,870	158,911	△ 10,041
普通預金	614,117	5,914,357	△ 5,300,240
定期預金	23,005,854	23,003,900	1,954
流動資産合計	23,768,841	29,077,168	△ 5,308,327
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
奨学金返還支援預金	7,229,904	0	7,229,904
特定資産合計	7,229,904	0	7,229,904
(3) その他固定資産			
工具器具備品	43,334	86,667	△ 43,333
その他固定資産合計	43,334	86,667	△ 43,333
固定資産合計	7,273,238	86,667	7,186,571
資産合計	31,042,079	29,163,835	1,878,244
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	1,120	980	140
仮受金	0	730,740	△ 730,740
流動負債合計	1,120	731,720	△ 730,600
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,120	731,720	△ 730,600
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	31,040,959	28,432,115	2,608,844
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(7,229,904)	(0)	△ 7,229,904
正味財産合計	31,040,959	28,432,115	2,608,844
負債及び正味財産合計	31,042,079	29,163,835	1,878,244

## 正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
<b>受取寄付金</b>	<b>3,980,181</b>	<b>499,536</b>	<b>3,480,645</b>
受取寄付金	3,980,181	499,536	3,480,645
<b>雑収益</b>	<b>1,994</b>	<b>2,063</b>	<b>△ 69</b>
受取利息	1,994	2,063	△ 69
<b>経常収益計</b>	<b>3,982,175</b>	<b>501,599</b>	<b>3,480,576</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>855,906</b>	<b>608,124</b>	<b>247,782</b>
奨学金返還支援金	849,576	430,896	418,680
支払手数料	6,330	3,348	2,982
諸謝金	0	118,800	△ 118,800
消耗品費	0	55,080	△ 55,080
<b>管理費</b>	<b>517,425</b>	<b>469,395</b>	<b>48,030</b>
役員報酬	148,000	116,000	32,000
福利厚生費	39,744	66,600	△ 26,856
会議費	0	6,300	△ 6,300
交際費	39,600	0	39,600
旅費交通費	62,000	70,300	△ 8,300
通信費	14,119	3,947	10,172
消耗品費	33,511	2,555	30,956
支払手数料	1,838	1,080	758
租税公課	70,480	10,480	60,000
諸謝金	64,800	118,800	△ 54,000
減価償却費	43,333	73,333	△ 30,000
<b>経常費用計</b>	<b>1,373,331</b>	<b>1,077,519</b>	<b>295,812</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	2,608,844	△ 575,920	3,184,764
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,608,844	△ 575,920	3,184,764
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,608,844	△ 575,920	3,184,764
一般正味財産期首残高	28,432,115	29,008,035	△ 575,920
一般正味財産期末残高	31,040,959	28,432,115	2,608,844
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>31,040,959</b>	<b>28,432,115</b>	<b>2,608,844</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法  
定率法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
奨学金返還支援預金	0	7,229,904	0	7,229,904
小計	0	7,229,904	0	7,229,904
合計	0	7,229,904	0	7,229,904

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
特定資産				
奨学金返還支援預金	7,229,904	0	7,229,904	0
小計	7,229,904	0	7,229,904	0
合計	7,229,904	0	7,229,904	0

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	160,000	116,666	43,334
合計	160,000	116,666	43,334

## **附属明細書**

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

### 2. 引当金の明細

該当事項なし

## 財 産 目 録

2020年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	148,870
	普通預金	伊予銀行 今治南支店	運転資金として	537,126
		伊予銀行 今治南支店	運転資金として	76,991
	定期預金	伊予銀行 今治南支店	運転資金として	23,005,854
流動資産合計				23,768,841
(固定資産)				
特定資産	奨学金返還支援預金	伊予銀行 今治南支店	奨学金返還支援事業に備える準備資金	7,229,904
その他の固定資産	工具器具備品	パソコン		43,334
固定資産合計				7,273,238
資産合計				31,042,079
(流動負債)				
	預り金	源泉所得税		1,120
流動負債合計				1,120
固定負債合計				0
負債合計				1,120
正味財産				31,040,959

2020年 月 日

一般財団法人 Free 財団  
代表理事 平林元樹 殿

## 監査報告書

一般財団法人 Free 財団

監事

監事

第4期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、各監事が分担して、必要な監査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書や報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当財団の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上